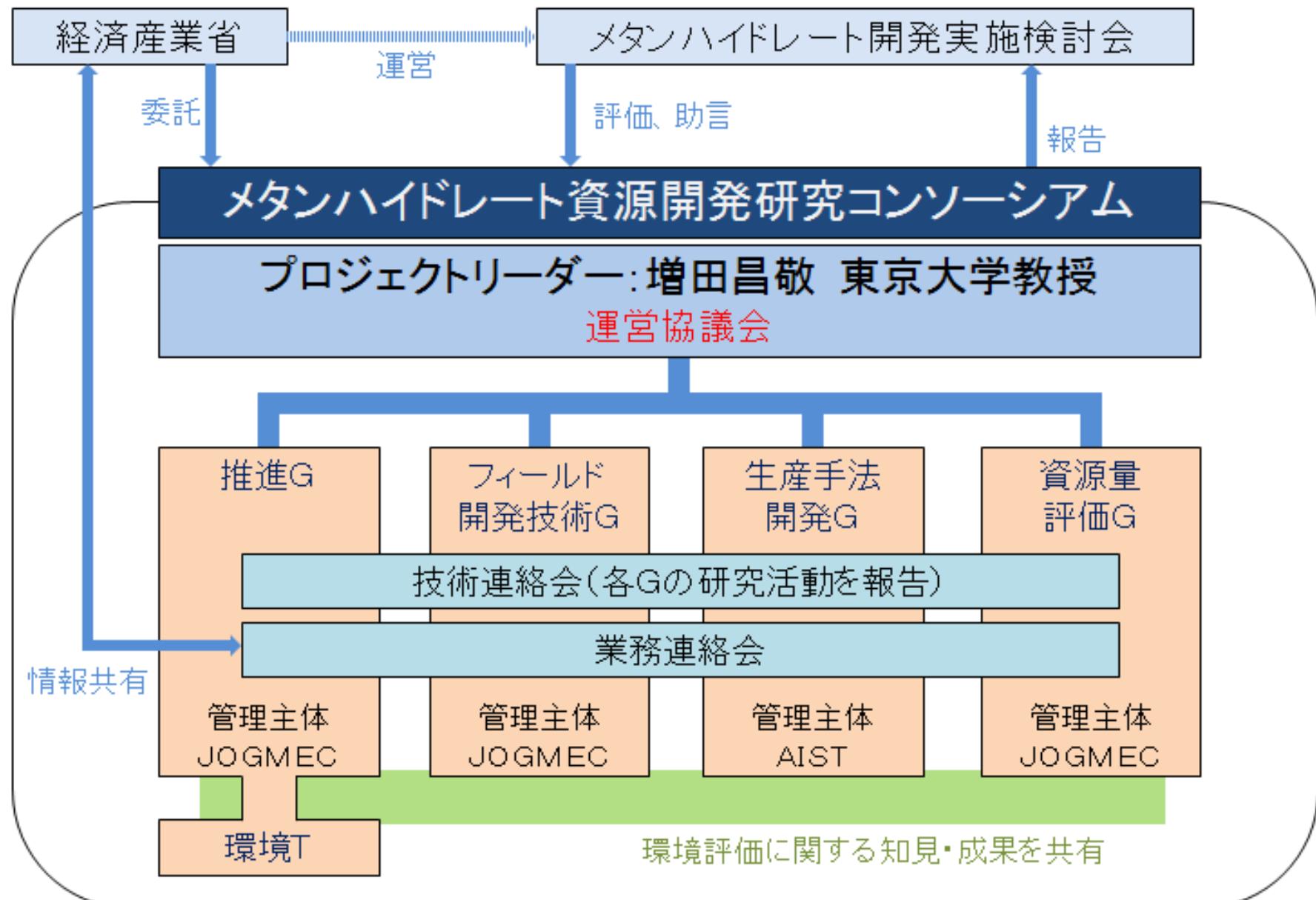


推進グループ
平成29年度事業報告
平成30年度事業計画

MH21推進グループリーダー
宅間 之紀

平成29年度事業報告

1. 平成29年度の実施体制(フェーズ3期間中)



2. 企画・運営業務

- ◆ 業務連絡会運営： 12回開催(3月の予定分を含む)
- ◆ 運営協議会運営： 2回開催
- ◆ 特許出願・公開・登録管理
- ◆ MH21内グループウェアの構築・運用
 - コンソーシアム内利用者数：168名(平成30年2月末現在)
 - 利用者への情報提供数：15件(平成30年2月末現在)
- ◆ 外部発表管理
- ◆ 海外動向調査： 隨時更新

2. (参考)運営協議会メンバー

◆ プロジェクトリーダー

東京大学 増田 昌敬

◆ サブプロジェクトリーダー

(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構 佐伯 龍男

(国研)産業技術総合研究所 天満 則夫

◆ 委員

(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構 野上 潔

(国研)産業技術総合研究所 神 裕介

石油資源開発株式会社 寺尾 好弘

日本海洋掘削株式会社 松澤 真樹

日本オイルエンジニアリング株式会社 松本 行弘

鹿島建設株式会社 三浦 悟

(一財)エンジニアリング協会 山田 周治

※ その他、オブザーバーとして各GL及び資源エネルギー庁担当者等が参加。

3. 特許出願・公開・登録管理

◆ 特許登録

特許番号： 286913(インド)

登録日： 平成29年8月31日

特許権者： 日本海洋掘削株式会社

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構

発明の名称： メタンハイドレートの分解促進およびメタンガス採取
システム

<promotion of methane hydrate decomposition and
methane gas collection system>

(日本国特許取得済み：平成23年10月28日)

4. 平成29年度外部発表件数

	学会発表	講演・報告	論文発表 (査読あり)	投稿 (査読なし)	資料提供 (教育)	資料提供 (マスメディア)	資料提供 (その他)
平成29年度	57	44	21	11	8	10	27
合計	178						

(平成30年2月末現在)

◆学会発表の例

「日本地球惑星科学連合2017年大会」

会期: 2017年5月20~25日

開催場所: 千葉

「The 9th International Conference on Gas Hydrate (ICGH9)」

会期: 2017年6月25~30日

開催場所: コロラド(米国)

「The 11th International Workshop on Methane Hydrate Research and Development (Fiery Ice 2017)」

会期: 2017年12月6~8日

開催場所: テキサス(米国)

5. 広報業務①

◆ 第2回海洋産出試験ニュースリリース等

- 4月～7月に6回の情報発信と画像等の提供

◆ WEB(MH21ホームページ)

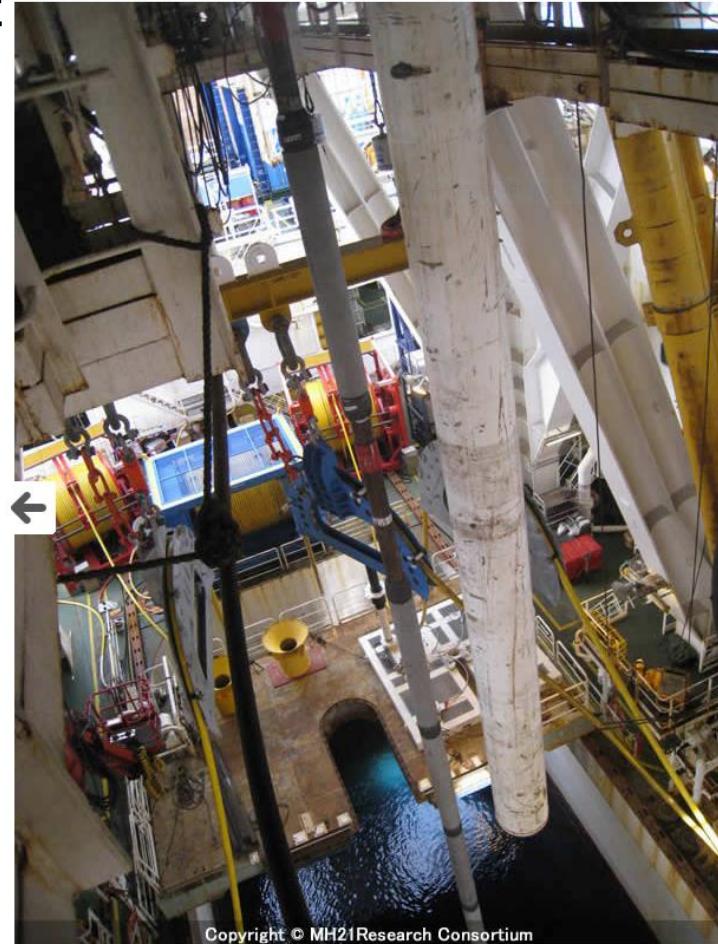
- 第2回メタンハイドレート海洋産出試験作業
フォトギャラリーの更新等
- アクセス数: 日本語版: 221,712件
英語版: 91,850件
(平成30年2月末現在)
- 質問コーナーへの個別回答: 57件
(平成30年2月末現在)

◆ マスメディア等取材対応

- テレビ・ラジオ: 1件
- 新聞・雑誌: 7件
- その他: 2件 (平成30年2月末現在)

◆ JOGMEC NEWS Vol.52 (2018年3月発行予定)

- 「海洋特集」の一部に掲載



Copyright © MH21 Research Consortium

CLOSE X

灰色の部分（写真中央の細い管）が形状記憶ポリマー。多孔質な素材で、この部分で砂を止めながら、ガスと水の生産を行う。

Image 2 of 66

「第2回メタンハイドレート海洋産出試験
作業フォトギャラリー」より

5. 広報業務②(メタンハイドレートフォーラム2017①)

- 日時:平成29年11月29日 10時30分～17時00分
- 場所:東京大学 伊藤国際学術研究センター
伊藤謝恩ホール
- 主催:メタンハイドレート資源開発研究コンソーシアム
(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構
(国研)産業技術総合研究所
- 石油・ガス会社、大学生など、参加者は総勢339人



5. 広報業務③(メタンハイドレートフォーラム2017②)

■プログラム

10:30 ~ 10:50	開会挨拶	MH21プロジェクトリーダー 増田 昌敬
10:50 ~ 11:50	「経済性等に関する課題について」	MH21サブプロジェクトリーダー MH21資源量評価グループ 佐伯 龍男 亀田 治邦
11:50 ~ 13:15	昼休み	
13:15 ~ 15:15	「第2回海洋産出試験について」 ・経緯と試験の目的 ・作業の工程と実施状況 ・生産プロファイル等の取得データの紹介 ・新たな課題とそれらへの取り組み、将来への指針	MH21フィールド開発技術 グループリーダー 山本 晃司
15:15 ~ 15:30	閉会挨拶	経済産業省資源エネルギー庁 石油・天然ガス課 課長補佐 権福 錠治
15:30 ~ 17:00	ポスターセッション	

平成30年度事業計画

平成30年度の実施内容

- **企画**
 - 一般成果報告会
 - 海外動向調査継続・整理
- **運営**
 - 運営協議会、業務連絡会の運営、技術連絡会の運営補助
 - 特許出願・公開・登録の管理
 - 外部発表などの管理
 - グループウェア運用・管理・情報提供
- **広報**
 - マスメディア等取材対応
 - ホームページ質問コーナー対応
 - ホームページの随時更新